



平成28年5月2日

各 位

上場会社名 愛眼株式会社
 代表者 代表取締役社長 下條 三千夫
 (コード番号 9854)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 佐々 昌俊
 (TEL 06-6772-3383)

業績予想の修正及び特別損失計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正するとともに併せて特別損失の計上をお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,614	49	111	12	0.64
今回修正予想(B)	16,563	117	209	43	2.22
増減額(B-A)	△50	68	98	30	
増減率(%)	△0.3	138.8	88.6	247.8	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	15,988	△411	△341	△1,237	△63.76

修正の理由

(1) 平成28年3月期の業績予想の修正について

通期の業績につきましては、眼鏡小売事業の販売単価の改善と補聴器販売の促進などが奏功し既存店売上高が伸長するとともに、経費面での広告宣伝費や改装経費などの支出の低減が寄与し、営業利益、経常利益ともに当初の業績予想を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、以上に加え、固定資産の減損損失を特別損失に計上しましたが、当初の業績予想を上回り、8年振りに黒字化を達成する見込みとなりました。

このような状況を踏まえ、平成28年3月期通期の業績予想数値を修正いたします。

(2) 特別損失の計上について

保有する固定資産について、平成28年3月期第3四半期累計期間において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失34百万円を特別損失に計上いたしました。その後も、依然厳しい経営環境が続いているため、財務健全性の観点から「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、資産の将来の回収可能性を検討した結果、平成28年3月期通期におきまして減損損失102百万円を特別損失として計上する見込みです。

※上記の予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上